

第7回 茨城大学教職大学院教育実践フォーラム 実施報告

今年度の教育実践フォーラムは、2024年3月2日（土）に開催致しました。今年度は、対面とオンラインのハイブリッド開催となりました。

本フォーラムの目玉は三つあります。一つ目は、基調講演の開催です。北海道教育大学教授の森健一郎先生より、STEAM教育に関するご講演をいただきました。誰もが耳にしたことはあるSTEAM教育。けれど、その特徴や学校教育の教育課程との関わりについて、その全容は捉え切れていない。おそらく、多くの参加者が抱えているであろう種々の疑問や不明点を森先生は解消してくださいました。元中学校教諭という立場と、現場の先生と共にSTEAM教育に関する探究を進められている研究者という立場の下、大変刺激的で、つい誰かに話したくなるSTEAM教育のポイントをご教示くださいました。この場をお借りして、改めて森先生に感謝申し上げます。

二つ目は、本教職大学院に設置されている6コースの院生による研究成果の報告です。対面でご参加された方々からいただいた教育の根本を突いたご質問の数々、またオンラインでご参加された方々からいただいた教師・子ども・保護者・地域の方々・教育行政機関といった多様なステークホルダーの視点を見据えたご質問の数々、それらに関する返答の機会を通して、改めて学校や教師の役割について検討できましたこと、大変喜ばしく思います。

最後の三つ目は、懇親会〔ホームカミングデー〕の開催です。本教職大学院を一期生として修了された方々をはじめとして多くの修了生にご参加いただきました。修了生の方々と在学生在が世代を越えて昨今の教育の諸問題について話をするのを目にし、改めて、大学という教育機関、中でも教育学部・教職大学院の魅力を感じるに至りました。人と人とのつながりは、あるときには学びの機会を、またあるときには困った時に手助けし合える機会を生んでくれるはずです。教師として、子どもたちに何を伝えるべきかについて共有できる場を今後も設けていきたいと考えております。

さて、今回のフォーラムも全国各地から多くの方々がお申込みくださいました。茨城県内はもとより東京都、千葉県、新潟県、静岡県、愛知県、兵庫県など様々な地域の方々にご参加いただきました。本専攻の教員・院生を含めて250名余を数える盛大なフォーラムとなりましたこと、感謝に堪えません。

本フォーラムの冒頭にお時間いただいた野崎英明 茨城大学大学院教育学研究科長の話、及びその締めくくりに登壇した勝二博亮 教育実践高度化専攻長の話にありましたように、今後もいっそう現場を意識した学びを大切に、教育活動に新しい視点をもたらす取り組みについて共有していければと思います。

最後になりますが、各院生に実習の機会をお与えくださった実習校及び関係機関の方々、また後援いただいた茨城県教育委員会、水戸市、大洗町、東海村各教育委員会、茨城県学校長会、茨城県教育研究会の皆様方に感謝申し上げます。今後とも変わらぬお引き立てのほどお願い申し上げます。

■全体会 12:40~13:55

- ・大学院教育学研究科長あいさつ (大学院教育学研究科長 野崎英明)
 - ・講師紹介 (教科領域コース 宮本直樹)
 - ・基調講演「学校におけるSTEAM教育の実践と評価」 (北海道教育大学教授 森健一郎氏)
 - ・全体会総括 (教育実践高度化専攻長 勝二博亮)
- 【司会 教科領域コース 小林英美】

■分科会（研究成果発表会） 14:00~16:40

学校運営コース／教育方法開発コース／児童生徒支援コース／教科領域コース／特別支援科学コース／養護科学コース

（報告：教育方法開発コース 宮本浩紀）